

<文献目録>

日本におけるカナダ研究・カナダ関連の近著

(* は本誌に書評を掲載した書籍)

2019年春以降のカナダに関する論考が含まれる主要な書籍は以下の通りである。一般向けの「啓蒙書」についても、複数の大学図書館に所収されている場合はリストに加えた。

- ・伊東利勝 編『「あなた」と「わたし」：内と外をへだてる知』(愛知大学人文社会学研究所、2019年)(岡田健太郎「カナダ多文化主義の光と影：カナダにおける日系人や移民を中心に」所収)
- ・東洋英和女学院編集委員会『カナダ婦人宣教師物語』(東洋英和女学院、2019年改訂)
- ・平間俊行『カナダの謎：なぜ「赤毛のアン」はロブスターを食べないのか?』(日系ナショナルジオグラフィック社、2019年)
- ・ルース・M・グーベル監修、神田健次・池田裕子編『ベーツ宣教師の挑戦と応戦』(関西学院大学出版会、2019年)
- ・田村紀雄『移民労働者は定着する－『ニュー・カナディアン』文化、情報、記号が伴に国境を横切る』(社会評論社、2019年)
- ・ルース・アビィ 著、梅川佳子 訳『チャールズ・テイラーの思想』(名古屋大学出版会、2019年)*
- ・立花英裕／真田桂子 編訳、後藤美和子／佐々木菜緒 訳『ケベック詩選集：北アメリカのフランス語詩』(彩流社、2019年)
- ・サヴェリエフ・イゴリ『自治領時代カナダの政治と日本人移民』(御茶の水書房、2019年)
- ・木村 裕／竹川慎哉 編著『子供の幸せを実現する学力と学校：オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・韓国・中国の「新たな学力」への対応から考える』(学事出版、2019年)(「第3章 社会的正義の実現に向けた学力ーカナダ・オンタリオ州の取り組み」所収)
- ・後藤玲子／新川敏光 編『アメリカ合衆国／カナダ』(新世界の社会福祉、旬報社、2019年)

- ・長谷川瑞穂『先住・少数民族の言語保持と教育－カナダ・イヌイットの現実と未来』(明石書店、2019年)*
- ・労働政策研究・研修機構編『諸外国における女性活躍・雇用均等にかかる情報公開などについて：フランス、ドイツ、イギリス、カナダ』(JILPT資料シリーズ、no.208、労働政策研究・研修機構、2019年)
- ・島田陽一 他編『「尊厳ある社会」に向けた法の貢献－社会法とジェンダー法の協同：朝倉むつ子先生古稀記念論集』(旬報社、2019年)(所 浩代「カナダにおける妊娠・出産・育児に関する休暇・休業体制：オンタリオ州、ケベック州、連邦政府の法制度比較」所収)
- ・上智大学アメリカ・カナダ研究所 編『北米研究入門2－「ナショナル」と向き合う』(上智大学出版、2019年)(伊達聖伸「ヴェールを被る理由・被らない理由－ケベックのムスリム女性たちの声を聴く」所収)
- ・関 俊彦『カナダ北西海岸民の生活像』(六一書房、2019年)
- ・田林 明 編著『カナダにおける都市－農村共生システム－農村空間の商品化と地域振興－』(農林統計出版、2020年)*
- ・和泉真澄『日系カナダ人の移動と運動－知られざる日本人の越境生活史－』(小鳥遊書房、2020年)*
- ・大竹英洋『ノースウッズ－生命を与える大地』(クレヴィス、2020年)
- ・平林美都子 編著『女同士の絆－レズビアン文学の行方』(彩流社、2020年)
- ・水戸考道／大石太郎／大岡栄美 編著『総合研究 カナダ』(関西学院大学出版会、2020年)*
- ・岡部 敦『高等学校から職業社会への移行プログラムに関する研究－カナダ・アルバータ州の高校教育改革－』(風間書房、2020年)